

平成 23 年 12 月 21 日

電通とバンダイがアニメーション事業で商品化権契約を締結 ～電通が世界展開するアニメーション事業の日本パートナーとしてバンダイが参画～

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、以下「電通」）は、北米大手玩具会社のジャックス・パシフィック社（JAKKS Pacific、本社：米国カリフォルニア州、代表者：社長兼 CEO：スティーブン・バーマン、以下「ジャックス社」）と共同でグローバルに展開する玩具キャラクターを活用したエンタテインメント事業である「モンスーノ」（以下「本事業」）の、日本におけるパートナーとして、株式会社バンダイ（本社：東京都台東区、代表者：代表取締役社長 上野 和典、以下「バンダイ」）にご参画いただくことで合意し、バンダイと日本における商品化権契約を締結いたしました。

本事業は、電通とジャックス社が共同で製作する「モンスーノ」という小学生男児向けのアニメーション番組を事業の核としながら、玩具をはじめとする関連商品を全世界に展開するライセンスビジネスです。アニメーションは現在 52 話を制作中で、巨大メディアグループ・バイアコム（Viacom、本社：ニューヨーク州）傘下の世界規模の児童向け放送チャンネルである「ニコロデオン」（nickelodeon）の 2012 年～13 年看板番組として、北米をはじめ、欧州、アジアでの放映が決定しています。

北米では 2012 年初春から放送開始予定で、同時にアニメーションと連動した玩具をジャックス社が販売いたします。また、欧州ではジョッキ・プレツィオージ社（GIOCHI PREZIOSI、本社：イタリア・ミラノ市）、豪州ではハンター・プロダクツ社（Hunter Products、本社：オーストラリア・ビクトリア州）という大手玩具会社が、それぞれ各市場におけるパートナーとして本事業に参画することが決定しています。

そしてこの度、世界第 2 位の玩具市場である日本においては、バンダイにご参画いただくことになりました。

今後、バンダイは 2012 年内の玩具発売を予定、電通はメディアとの強固なリレーションを活かしながらアニメーションのテレビ放映などの各種プロモーション事業を担当し、ともに 2012 年のクリスマス商戦をターゲットに事業を展開していく予定です。

なお、「モンスーノ」の概要は次ページのとおりです。

■「モンスーノ」の概要とアニメーション画像

「モンスーノ」は、電通の 100%子会社である電通エンタテインメント USA（本社：米国カリフォルニア州、社長兼 CEO：坂田 雄馬）およびジャックス社の 2 社で設立したジョイントベンチャーであるパシフィックアニメーションパートナーズ社（Pacific Animation Partners LLC、本社：米国カリフォルニア州、共同代表者：ジャルミー・パダウェル、坂田 雄馬）が製作する男児向けアクション・アドベンチャー・ストーリーです。

2 社に加え、英国に拠点を置く世界規模のテレビ番組製作／配給会社であるフリーマントル・メディア・エンタプライズ社（FremantleMedia Enterprises、本社：英国ロンドン、代表者：デイビッド・エレンダー）、米国の大手トレーディング・カードゲーム会社であるトップス社（The Topps Company, Inc、本社：米国ニューヨーク州、代表者：ライアン・オハラ）が出資者として参加しています。

電通はアニメーションへの出資に加え、日本を含むアジア地域のマスターエージェント（総代理店）として、同地域でのビジネス構築（放送パートナーおよび玩具パートナーの選定など）を担当しています。



【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部
市川・河南・山田 Tel：03-6216-8041

以 上